

Ⅱ アンケート調査の結果

1 子どもの権利条例について

(1) 条例の認知度

過去3回の調査（2003年、2005年、2008年）では、条例の認知度を、「知っている」「知らない」の2つの選択肢で尋ねていたが、今回は、特に条例の広報・啓発が中心テーマであることから、認知度をより丁寧に調査するために、「知っている」「知らない」のほか「聞いたことがあるが内容はよくわからない」を加え、3つの選択肢で尋ねた。

子どもの権利条例を「知っている」と回答する割合は、子どもが10.6%、おとなが8.0%、職員が82.2%、「聞いたことはあるが内容はよくわからない」と回答する割合は、子どもが28.0%、おとなが30.0%、職員が15.0%であった。おとなと子どもはそれぞれおよそ60%が知らないと回答している。

Q1-1 かわさきしこ けんりじょうれい 川崎市子どもの権利条例を知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

1 し 知っている 2 き 聞いたことがあるが内容はよくわからない 3 し 知らない つぎ →Q2へ

図1【子ども】

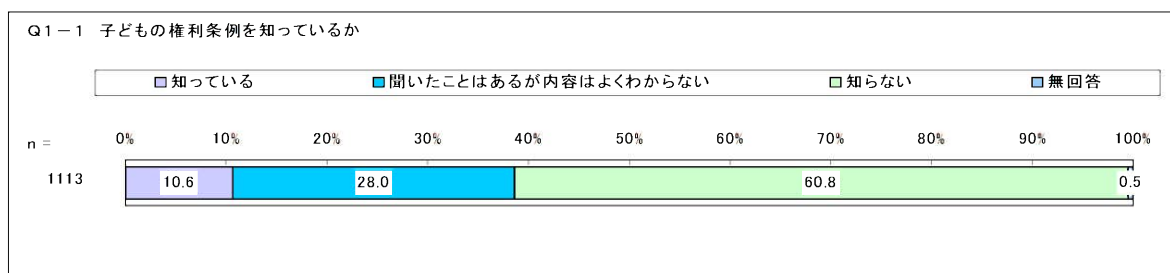


図2【おとな】

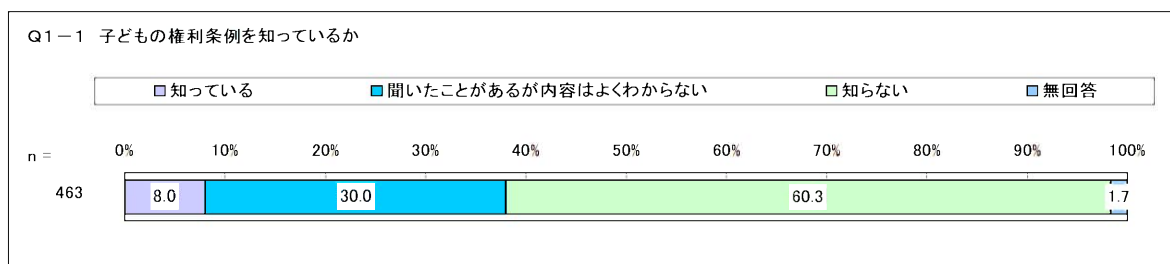
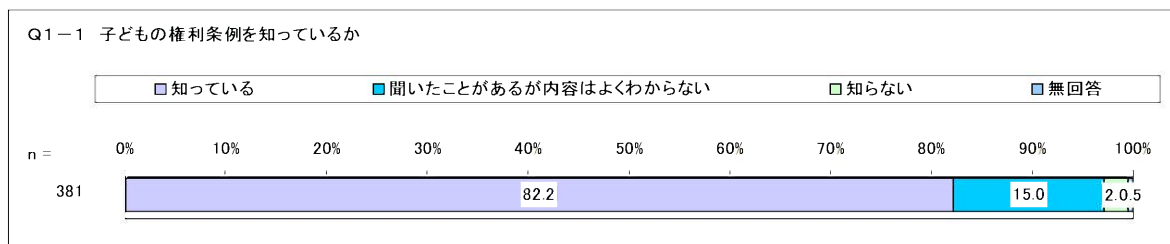


図3【職員】

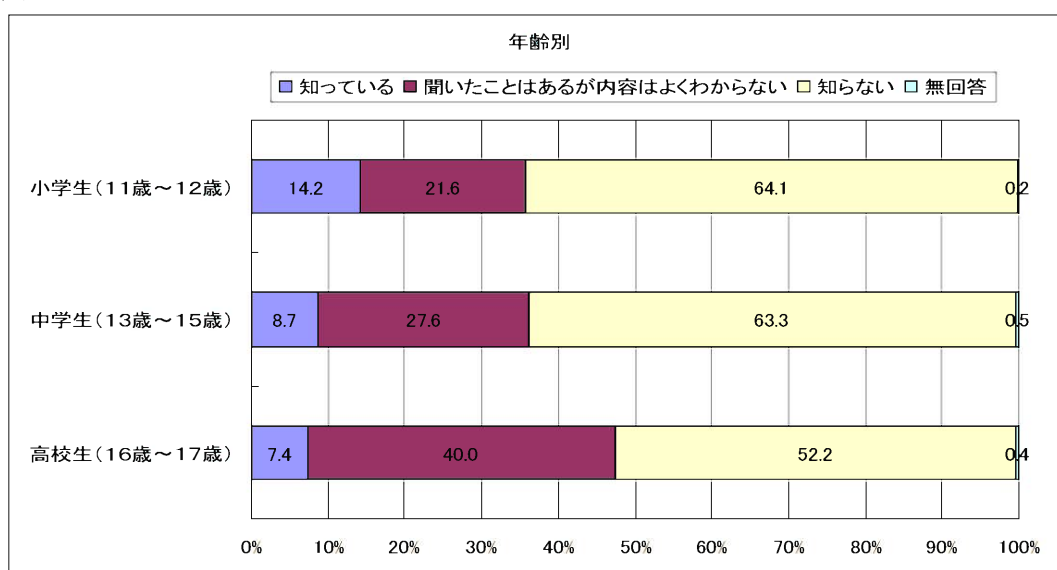


① 子ども

【子ども—年齢別】

子どもを年齢別に見ると、「知っている」と回答する割合は小学生世代で 14.2%だが、中学生世代で 8.7%、高校生世代で 7.4%と年齢があがるほど減少している。ただし、「知らない」という回答は年齢があがっても増加はせず、むしろ減少し、「聞いたことはあるが内容はよくわからない」という回答が増加している。小学生世代で学習したものの、年齢があがるごとにその内容が薄れている可能性も考えられる。

図 4

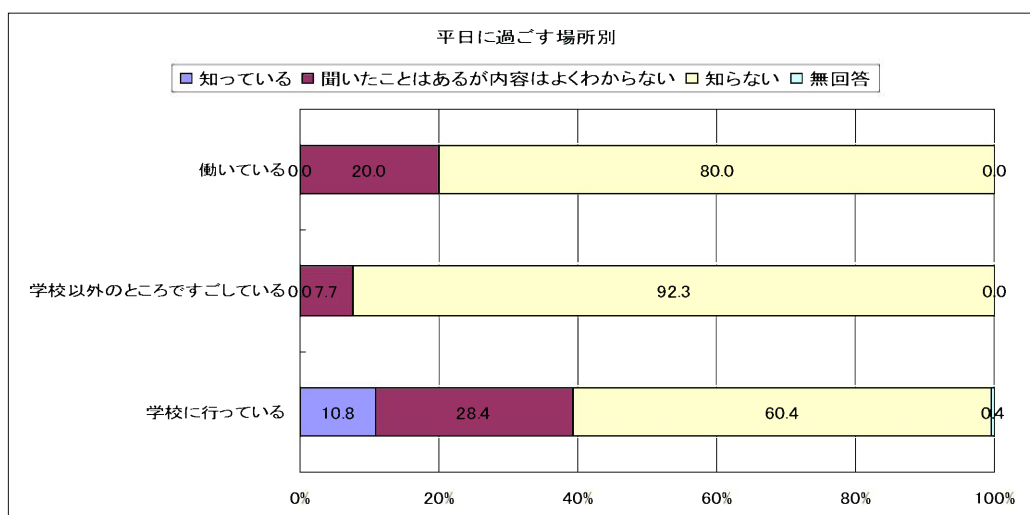


※ 小学生 (n=459)、中学生 (n=381)、高校生 (n=270)

【子ども—平日に過ごす場所別】

平日学校に行っていない子ども（「学校以外のところで過ごしている」子ども、「働いている」子ども）については、回収数が少ないためあくまで参考データではあるが、学校に行っている子どもと比較すると、「知らない」割合が高かった。

図 5

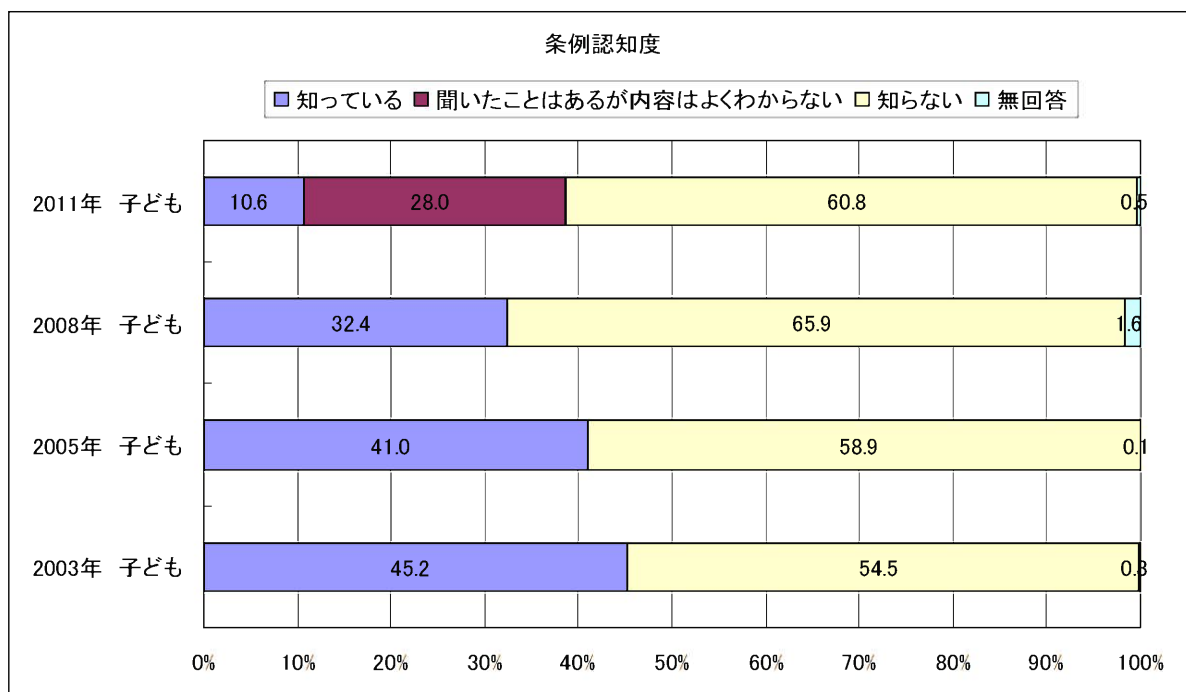


【子ども—経年比較】

前述のように、今回の調査では、新たに「聞いたことはあるが内容はよくわからない」を設けたため、「知っている」「知らない」と回答する割合を、過去3回の調査と比較することはできない。それは、条例を「聞いたことはあるが内容はよくわからない」程度の条例認知度の人が、過去3回の調査では「知っている」に回答していた場合もあれば、「知らない」に回答していた場合もあると考えられるからである。

しかしながら、今回の調査では、条例を「聞いたことはあるが内容はよくわからない」人もあわせると、38.6%が条例の存在を知っていると回答し、内容についてもある程度わかっていると考えられる人が10.6%いることが明らかになった。

図6



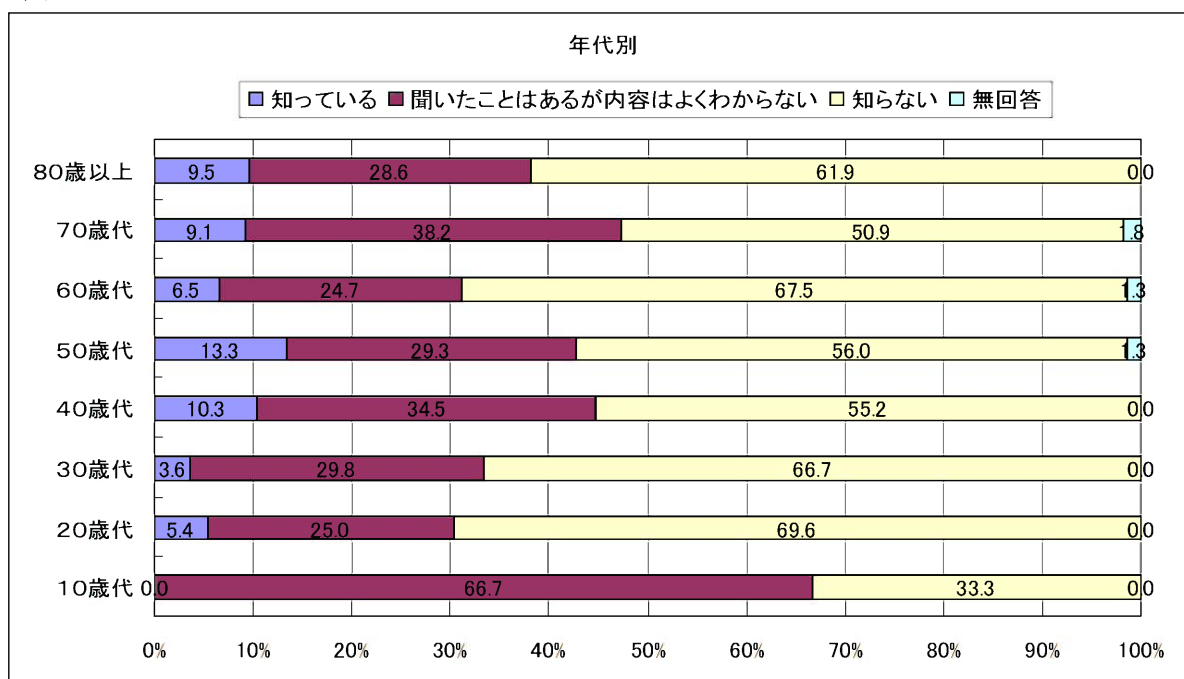
※2011年調査に、選択肢「聞いたことはあるが内容はよくわからない」を新設

② おとな

【おとな—年代別】

「知っている」とする回答が最も多い年代は、50歳代で13.3%、次いで40歳代で10.3%であった。20歳代・30歳代の比較的若い世代の認知度が、それ以上の世代に比べてやや低かった（20歳代5.4%、30歳代3.6%）。

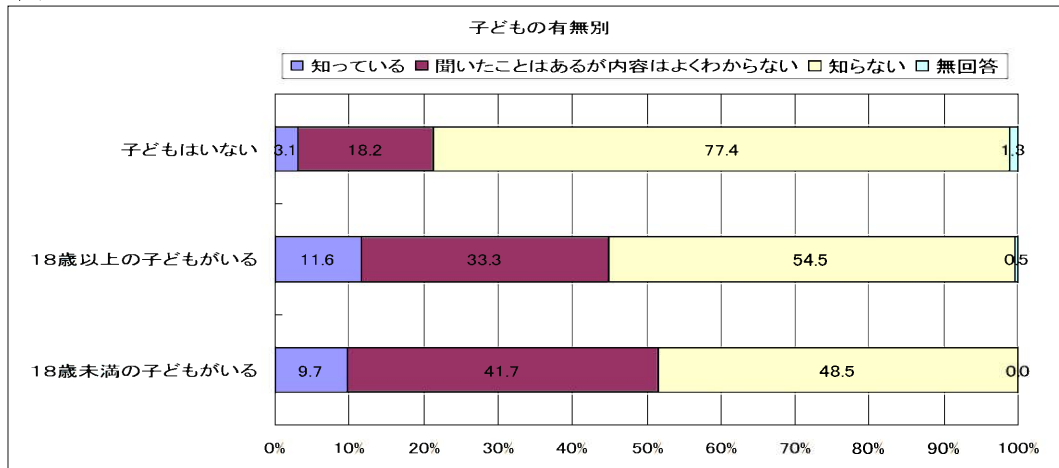
図7



【おとな—子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、条例を「知っている」割合は、18歳以上の子どもがいるおとなで11.6%、18歳未満の子どもがいるおとなで9.7%、子どもがいないおとなで3.1%であった。逆に子どもがいないおとなの「知らない」とする回答は77.4%で、子どものいるおとなに比べて多かった。子どもがいるおとなに比べて、子どものいないおとなの認知度が低い傾向が読み取れる。

図8

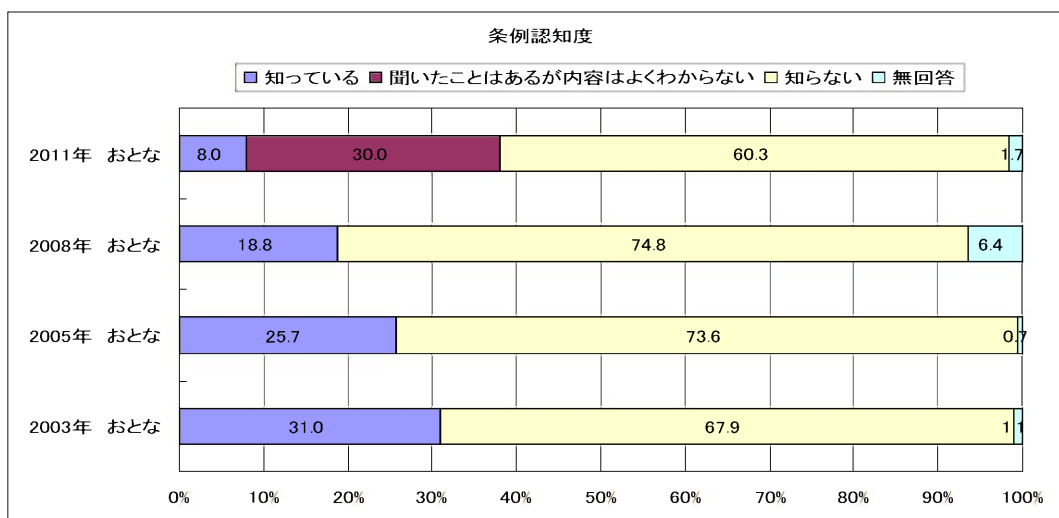


【おとな—経年比較】

子どもと同様、今回の調査では、新たに「聞いたことはあるが内容はよくわからない」を設けたため、「知っている」「知らない」と回答する割合を、過去3回の調査と比較することはできない。

しかしながら、今回の調査では、条例を「聞いたことはあるが内容はよくわからない」人もあわせると、38.0%が条例の存在を知っていると回答し、内容についてもある程度わかっていると考えられる人が8.0%いることが明らかになった。

図9



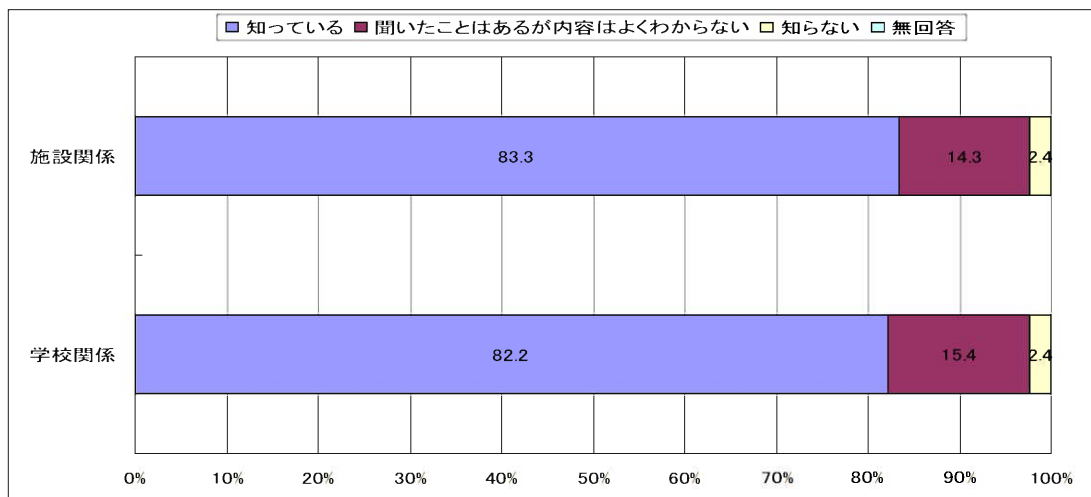
※2011年調査は、選択肢「聞いたことはあるが内容はよくわからない」を新設

③ 職員

【職員—学校・施設別】

学校関係・施設関係ともに80%以上が「知っている」と回答している。

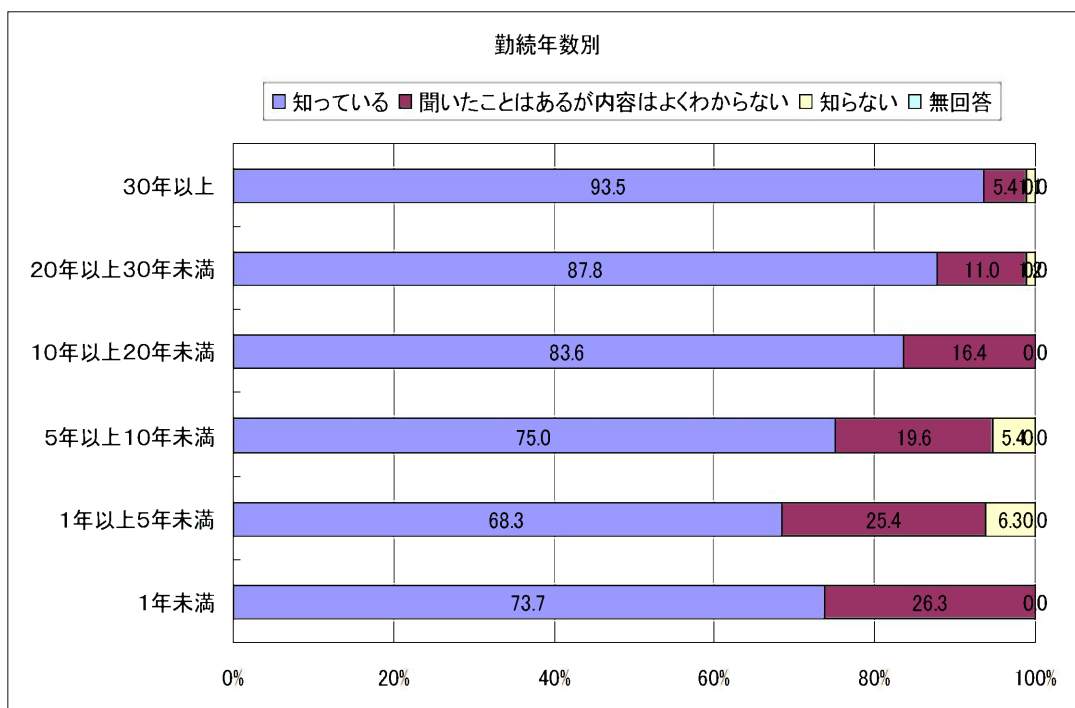
図 1 0



【職員—勤続年数別】

1年以上勤めている職員では、勤続年数が長い職員ほど「知っている」割合が増加しており、30年以上の勤続年数の職員は93.5%が「知っている」と回答した。

図 1 1

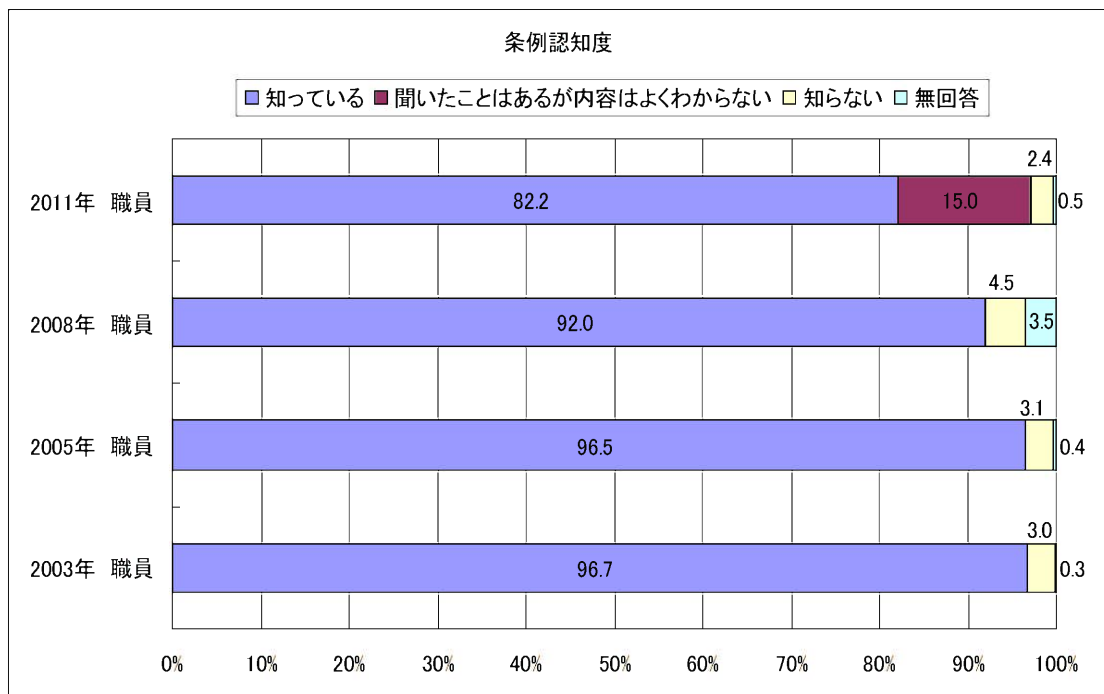


【職員—経年比較】

子ども・おとなと同様、今回の調査では、新たに「聞いたことはあるが内容はよくわからない」を設けたため、「知っている」「知らない」と回答する割合を、過去3回の調査と比較することはできない。

子どもやおとなに比べれば、職員の認知度は高い。条例の存在自体を知らない人は2.4%にとどまり、97.2%が条例の存在を知っている（「知っている」人82.2%、「聞いたことはあるが内容はよくわからない」人15.0%）。しかし今回の調査で、条例の存在自体は知っていても、「聞いたことはあるが内容はよくわからない」程度の認知度の人15.0%いることが新たに明らかになった。

図12



※2011年調査は、選択肢「聞いたことはあるが内容はよくわからない」を新設